

## モンゴルと日本の架け橋に

市のモンゴル国際交流員に着任したルイメド・ソヨルマーさんが9月15日、市長に着任の挨拶を行いました。モンゴルの大学で日本語を学び、日本の大学院にも留学した経験のあるルイメドさん。都城の印象を「山に囲まれて自然も多く、モンゴルと似ている。畜産業が盛んなところも、遊牧民がルーツであるモンゴルと同じで、親近感が湧く」と話しました。最後に、モンゴル語で「都城」と書かれた書を市長に渡すと、「市民の皆さんと交流を深めて、モンゴルの文化をもっと知ってほしい」と意気込みを語っていました。



モンゴル国際交流員着任

## 夢と希望を乗せ大空へ

本市PR部長「ほんちくん」や牛・豚・鶏、都城焼き肉三昧舟盛り御膳のイラストが機体に描かれた「肉と焼酎のふるさと 都城号」の就航記念式典が10月1日、宮崎ブルーエンビリア空港で行われました。ソラシドエアの機体ラッピングプロジェクト「空恋」を活用した同事業。式典では、就航を祝うテープカットが行われ、搭乗者にほんちくんの絵はがきなどの記念品がプレゼントされました。池田市長は「今回の就航を機会に、全国の皆さんに都城を知ってもらい、ぜひ、遊びに来てほしい」と力を込めました。



「肉と焼酎のふるさと 都城号」就航記念式典

## 起業にかける思いを訴える

起業や創業を考えている人を応援する企画「ミヤバレーin都城」が9月13日、コミュニケーションセンターで開催されました。与えられた5分間の発表時間を使って、高校生や大学生を含む市内外から名乗りを上げた13組が、事業内容や商品を紹介。起業や創業に対する思いなどをアピールしていました。



ミヤバレーin都城

## 受け継がれる伝統文化を披露

山之口どんどんまつりが9月12日、山之口運動公園で開催されました。みやこんじよ弁ラジオ体操第1で、勢いよく幕を上げた同祭り。地元小学生らが、授業で学んだ勇壮な棒踊りや奴踊りなどの民俗芸能を披露し、花を添えていました。祭りの終盤では、5、000発の花火が夜空を彩りました。



山之口どんどんまつり

## 圧巻の力作が勢ぞろい

都城市美術展が9月19日から10月4日まで、市立美術館で開催されました。市内外から絵画や書、写真など約300点の応募があり、大賞を含む24点が入賞。会期初日に行われた鑑賞会では、審査員らによる入選作品の講評などが行われ、訪れた出品者らが真剣に聞き入っていました。



都城市美術展

### 地域を挙げておもてなし

地域の魅力を発見するイベント「盆地博覧会（ボンパク）」のプログラムの一つ「もちお歩きと昼ごはん」が10月3日、母智丘公園周辺で開催されました。約20人の参加者は、地元カイドの案内で南北朝期の城跡や母智丘神社などを散策。まち歩きを楽しんだ後は、築100年の民家で地域の人が作った郷土料理に舌鼓を打ちました。加治佐ヨリ子さん（高崎町大牟田）は「友人に誘われて参加した。地域の史跡を案内してもらった機会はないので、たくさん発見があった」と地域を挙げたおもてなしに満足していました。



もちお歩きと昼ごはん

### 地域を支える活力に

地域おこし協力隊として着任した平山さゆりさんへの辞令交付が10月9日、市役所で行われました。地域おこし協力隊は、都会から地方へ移住した隊員が、さまざまな活動を通して地域の魅力を発信する制度。本市では昨年从高崎地区で1人が活動中で、平山さんは市全域を対象に、移住・定住の促進や婚活支援などに携わります。広島県や福岡県で過ごした本市出身の平山さんは、「都城はおいしい食べ物や人の温かさなど、魅力がたくさん。県外で暮らした視線を生かして、都城に活気を呼び込みたい」と力強く語りました。



地域おこし協力隊辞令交付式

### 瞬時に指す。将棋の多面打ち

プロタイトル戦の女流王将戦第1局が10月3日、霧島フアクトリーガーデンで開催されました。同会場で行われたプロ棋士による大判解説に多くのファンが来場。関連イベントの詰め将棋早解きコーナーや指導対局では、来場者も参加し、プロ棋士との交流を楽しみながら腕を磨いていました。



サッカーフェスティバル

### 世代を超えて楽しむサッカー

地域のサッカー選手が一堂に会する「サッカーフェスティバル」が9月23日、高崎総合公園で開催されました。未就学児から壮年まで、約400人が参加し、世代別の選抜試合や幼稚園児らの交流試合などが行われました。参加者らは、額に汗を流しながら必死にボールを追いかけ、交流を深めていました。



女流王将戦第1局

### 安心して暮らせるまちを目指して

交通安全や防犯への取り組みを推進する「安全・安心みやこんじよ盆地大会」が10月3日、総合文化ホールで開催されました。地域安全などに貢献した人や団体の表彰と併せて、児童・生徒らによる交通ルールの遵守などをテーマにした作文が披露され、参加者は安全への意識を高めていました。



安全・安心みやこんじよ盆地大会





ふるさとへの思いを胸に  
夢を描く漫画家



漫画「ぼんちくん」の産みの親 **今村 幸一さん**

ラシドエアの機体活用プロジェクト「空恋〜空で街と恋をする〜」を活用した「肉と焼酎のふるさと 都城号」が10月1日、就航しました。その機体デザインに採用された都城市PR部長「ぼんちくん」の産みの親が、今村幸一さん（61歳）です。

「肉と焼酎のふるさと 都城号」では、市の観光パンフレットや、ぼんちくんがプリントされたヘッドレストカバーを配置。また、客室乗務員が、ぼんちくんやPRロゴがデザインされたエプロンを着用して本市をPRしています。

さまざまなイベントなどで大人気のぼんちくん。「ぼんちくん」は、今村さんが子どもの頃の思い出を基に描いた漫画で、方言でユーモラスに語る小学生の日常を描いたものです。今村さんは「趣味が高じて書き始めた漫画。応援してくれる人や、妻の支えがあったからこそまで頑張れた」と感謝の気持ちを話します。

「ぼんちくんの着ぐるみが完成したときに、夢が一つ実現したと感じた。そして、肉と焼酎のふるさと 都城号の就航。初めての便が大空に飛び立つ瞬間は、全国の皆さんに都城とぼんちくんを知ってもらえると思い、感動と共に実感が湧いてきた」と笑顔を見せる今村さん。その一方で、「自分

の手を離れ、巣立っていく子どもを見送るようなうれしさと寂しさを感じた」と親心を話します。

「ぼんちくんを描くようになってから、いろいろな事を調べるようになった。今では、調べることも楽しみの一つ」と意欲的な今村さん。「次はアニメになって、都城のすばらしさをPRするぼんちくんを思い描いている」と夢は大きく広がります。

「夢は大きく前向きに、いつも笑顔で」をモットーに、今村さんは、今日も「ぼんちくん」を描き続けます。



※漫画「ぼんちくん」は、毎月1回市内のスパーなどで無料配布しています



# 被災地派遣 職員奮闘記

Vol.3

平成23年3月に発生した東日本大震災では、東北地方の太平洋沿岸の自治体が数多く被災。平成24年度から本市では被災した自治体を支援する取り組みとして、職員を派遣しています。今回は、宮城県気仙沼市に派遣されている山崎裕太主査の奮闘振りを紹介します。

## 変わり続けるまちの姿

私は、4月から気仙沼市産業再生戦略課に配属され、被災した水産加工施設の早期復旧を図るための水産加工団地造成事業に携わっています。私が担当する事業以外にも、防災集団移転促進事業や災害公営住宅整備事業などが進められています。気仙沼市が復興を果たすにはまだ時間が必要です。

## 水産業のまち「気仙沼」

我が「都城」といえば、日本一の肉と焼酎のふるさと。一方、気仙沼は水産業が盛んな



まちです。生鮮カツオの水揚げ量は、18年連続日本一で、高級食材として名高いフカヒレの生産量も日本一です。農産物と水産物との違いはありますが、互いに食を通して日本一を誇れるところに共通点を感じています。

## 復興に向けて続く取り組み

防潮堤建設や災害公営住宅整備など、復興に向けた整備事業が進められる一方で、産業復興に向けた取り組みも積極的に進められています。

気仙沼は、今が旬のサンマも有名。全国各地で気仙沼産のサンマを使った「さんま祭」を開催しています。私も9月に行われた楽天さんま祭に参加しました。行列ができるほどの盛況ぶりです。気仙沼のおいしいサンマは人々を引き付けます。



さんま祭りをはじめ、さまざまな機会に触れることで、復興に向けて取り組み人たちが、それを支える人たちの意気込みを感じる事ができました。派遣期間も残り半年を切りましたが、更なる復興に向けて、日々の業務に励んでいきたいと思っています。

◎問い合わせ 秘書広報課 ☎23-3174

盆地元気

盆地生まれの元気をいただきます!

サケの豆乳みそ煮

※1人分 184kcal、塩分1.29

1日の野菜摂取量は350g

サケの赤い色素は、アスタキサンチンと呼ばれる抗酸化力が高い栄養成分です。老化やがんの引き金となる活性酸素から体を守り、血液をサラサラにして動脈硬化を防ぎます。

### 材料 (4人分)

|        |      |      |       |
|--------|------|------|-------|
| 生サケ    | 4切れ  | みそ   | 40g   |
| 大根     | 200g | 調整豆乳 | 200ml |
| ニンジン   | 100g | だし汁  | 200ml |
| ショウガ   | 10g  | 酒    | 大2    |
| カイワレ大根 | 20g  | 砂糖   | 大1と小1 |

### ●下準備

- 大根…1cmの厚さに切って、いちよう切りにする
- ニンジン…1cmの厚さに切って、半月切りにする
- ショウガ…千切りにする
- カイワレ大根…根元を落とし、3等分に切る

### ●作り方

- ①鍋にAを入れ、下準備した大根、ニンジン、ショウガを入れ、ふたをして火にかける。野菜が柔らかくなったら生サケを入れ、弱火で10分程度煮る。
- ②煮汁でみそを溶き、豆乳を加えて弱火で10分程度煮る。器に盛り付け、カイワレ大根を乗せる。



豆乳を入れたら、沸騰させないようにしましょう。また、白菜や里芋など季節の野菜を入れても楽しめます。

◎問い合わせ 健康課 ☎23-2765